

「恋人の聖地」牛岐城跡公園(阿南)

幸せ願う木に
カード1000枚

NPO法人地域活性化センター(静岡県)の「恋人の聖地」に選ばれ、昨年十二月、選定地を示す銘板が設置された阿南市富岡町の牛岐城跡公園に、カップルが詰め掛けている。二人の思いを書いて結びつける「願いの木」(高さ五メートル)には、既に千枚以上のメッセージカードが。富岡商店街協同組合(山本史夫理事長)は七日、同公園で大願成就祈願祭を開き、十四日のバレンタインデーにもイベントを企画している。

富岡商店街協同組合 祈願祭開き焼納

メッセージカードは、発光ダイオード(LED)のペンダントの「願いの実(百円)」に添え、同商店街の八店舗で販売している。昨年十二月十六日の除幕式の際に売り出

が売れたという。「願いの木」は一カ月余りで、カードでいっぱいになった。「幸せになりますように」といった恋人らしい願い事が書かれたカードがほとんどだが、中には「宝くじが当たりますように」と記した勘違い組も。



「願いの木」を前に恋愛の成就を祈る県青年神職会の会員—阿南市の牛岐城跡公園

つるす場所がほとんどなくなり、これまでのカードを整理するため祈願祭を開いた。同組合員や市職員ら二十人が見守る中、徳島県青年神職会(忠津慶治会長)の三人が恋愛の成就を願う神事を行った後、カード約千枚を丁寧に納めした。阿南市津乃峰町の津峯神社に運んでお払いし焼納する。山本理事長は「祈願したことで恋愛は成就すると思う。今度は結婚をお

願いに来てください」と話していた。現在、イルミネーションは工事のため中断しているが、九日の夜から再開する。同組合はバレンタインデーには、イベントごとに発行される恋人証明書を来場のカップルに無料で配る。また、バレンタインバージョンのカードを願いの実(百円)に添えて販売(限定五百個)する。問い合わせは同組合(電話0884(22)1684)。